

# フォレストニュース

**植林が地球を救う**  
平成24年(2012)7月10日  
**No. 55**  
発行 高津啓洋

## プロジェクトの概要 と今後

私は中井さんとともに夜行バスでアスンションから第二の都市、エステ市に今日の朝、無事到着し、育苗所責任者のベニグノ氏と奉仕隊が活動するミンガグアス市での活動内容について打ち合わせをしました。その後、ミンガグアス市庁舎にて環境局の責任者と会いました。

環境局から出されたミンガグアス クリーン都市プロジェクトの内容を中心に話し合いを持つことができました。話し合っているときに植林を指導する関係者、市長の秘書室長等が集まって来、熱心に話しの中に入れてくれました。

期待の大きさを実感しました。

市は3年計画で市の森林再生とともにクリーンモデル都市造りを目指しており、そのプロジェクトを地球の緑を守る会と南北米財団が応援することになっています。しかし、より詳しい計画書がなければ日本での支援者を得る活動することが簡単でないので、早いうちに3年計画を出してもらうように要請しました。

市としてはすでに今年3月から準備し、5月18日にはモデル公園の敷地の整備と植樹を一部始めることでした。植樹に使う苗木は私達の育苗所で育つ木を使うことになっています。

ミンガグアス市プロジェクト



た。それまでにエステ市の私達の苗木所で準備をすることになります。苗木所の責任をとっているベニグノ氏に活動において何が一番必要ですかと尋ねると、すでに日本の緑の会から設備拡張の支援を得ているので育苗所としては十分ですが、今後、その苗木を植樹に必要な場所に持って行くために、どうしても中古でも良いので小型トラックが必要

第一弾。5月18日、ミンガグアス市の要請により、クリーンシティ構想の一環とし、170本の苗木を贈呈し、市の環境局、教育委員会の関係者とともに市の憩いの広場に植えました。6月半ばにさらに300本を超える苗木を市に提供し、植樹をしました。

今後、継続的にエステ市の育苗所から苗木を提供し、市のクリーンモデル市建設を推進することになります。

9月の奉仕隊が来るまで継続的な植樹を行ないます。苗木の種類はラパーチョ、スギ、松などです。

奉仕隊は9月5日にミンガグアス市に到着し、市長を中心とする市庁舎と市の教育委員長を中心とする学校関係者が一同に集まり、集会を行う事に決定しまし

要であるとの事でした。予算としては15000ドルほどであるとの事でした。

活動を効果的にしていくためには色々と設備の投資が必要です。今年の奉仕隊は今までの活動を土台とし、より大きな効果が期待されています。その期待に応え、プロジェクトを成功させるためにも、皆様と皆様の関係者の支援が必須です。よろしくお願ひします。柴沼記

## ボランティア 支援のお願い

8月25日からの奉仕活動は、パラ

グアイ北部のマリア・アウシリアドーラ村と南部のミンガグアス市での植樹活動です。支援金の振込先：ゆうちょ銀行 記号10150番号63658601 トクヒ)地球の緑を守る会

三菱銀行 五反田支店 普通口座 2020330地球の緑を守る会



森林公園予定地です

【お知らせ】 8月25日からのボランティアは、パラグアイ北部のマリア・アウシリアドーラ村と南部のミンガグアス市での植樹応援です。支援をお願いいたします。